

復旧復興だより

(この便りは、相双建設事務所と富岡土木事務所が取り組む復旧・復興事業の進捗状況などをお伝えするものです。)

◆常磐自動車道へのアクセス道路が開通しました。

相双建設事務所では、これまで常磐自動車道のインターチェンジ（IC）へのアクセス道路の整備を進め、ニュースでも大きく報じられた12月6日（土）の常磐自動車道の部分開通にあわせ、新地ICアクセス（国道113号・駒ヶ嶺工区）と浪江ICアクセス（国道114号・室原工区）を開通させました。

今回の部分開通で宮城県と福島県浜通りが高速道路でつながり、復興がより進むことが期待されており、(株)ネクスコ東日本と連携した事業完成の効果は大きいものであります。

当事務所ではこの他の箇所でも、地域の復興を強く前進させるための道路整備に取り組んでおり、それぞれの事業が一日も早く完成するよう各現場で日々工事を進めております。

(相馬IC及び南相馬ICのアクセス道路は、平成24年4月の一部開通にあわせ事業を完成させました。)



(常磐自動車道開通式典の様子)



(株)ネクスコ東日本作成パンフレット
(常磐道位置図出典)



開通した浪江ICへのアクセス道路(国道114号室原工区)

開通した新地ICへのアクセス道路(国道113号駒ヶ嶺工区)

○新地Cアクセスではテレビ取材を受けました。

常磐自動車道の部分開通が間近に迫った11月11日には、国道113号・駒ヶ嶺工区の事業についてテレビユー福島の取材を受けました。

ここでは、相双建設事務所が行った事業の内容や工事の進捗状況のほか、福島県が進める「ふくしま復興再生道路」の取り組みについても、分かりやすく説明しました。
(この取材内容は11月27日に放送されました。)



工事監督員の声

「国道113号・駒ヶ嶺工区（吉田技師）」

12月6日に間に合わせるための調整等大変なこともありましたが、無事工事が終わりアクセス道路を開通することができました。

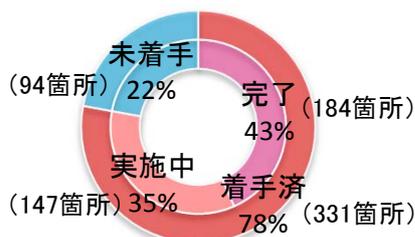
沢山の方に利用していただいておりますと嬉しく思うとともに、今回の開通がこれからの復旧・復興の一助となれば幸いです。



(事業の内容などを説明している様子)

◆ その他の情報

◇ 震災等の災害復旧工事の進捗 (H26.11月)



※対象は相双建設、富岡土木が管理する道路、河川、海岸等であり、放射線量が高く査定が未実施の避難指示区域の一部は含まず。率は事業箇所数で算出した割合。

◇ 県道原町川俣線

八木沢トンネルの掘削状況

H26.12.17現在、全長2,345mのうち南相馬市側から**587m**地点を掘削中。

◇ 復旧・復興の「現場の見える化」を推進しています。

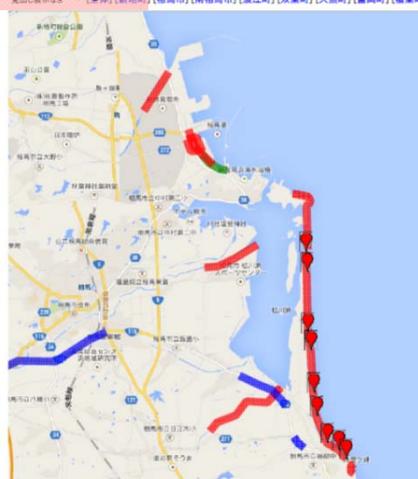
相双地方の復旧・復興事業は本格的に工事に着手するなど着実に進んでいます。そこで、ふるさとの復旧・復興を皆さまに実感していただけるよう「現場の見える化」を推進しております。

これは、河川、防潮堤の災害復旧や復興のための道路整備などについて、工事内容や被災直後（着工前）からの写真等をホームページ上に掲載し、現場の移り変わりなどが目で見て分かる様にしています。

今後は定期的に写真等を更新し、復旧・復興が進んでいる姿を随時、お知らせしてまいります。

URLは<http://sousou.g-road.info/a/info1.php>です。

ぜひチェックしてみてください。



(ホームページ画面のイメージ)



○次回は、「ふくしま復興再生道路の整備状況」をお伝えする予定です。

(事業の進捗状況等により変更する場合があります)

編集者：福島県相双建設事務所 企画管理部 企画調査課 TEL0244-26-1228 FAX0244-26-1197

Eメール sousou.ken@pref.fukushima.lg.jp HPアドレス <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41370a/soso11048.html>